

平成31年度学校自己評価システムシート (県立大宮工業高等学校 定時制課程)

目指す学校像	心豊かな人間を育成し、生徒の夢を実現する学校
--------	------------------------

重点目標	1 仕事と学校生活の両立を支援し、基礎学力の向上を図る。 2 基本的生活習慣の確立を図る。 3 自己の適性を知り、希望進路を実現する。 4 地域社会に根ざした学校づくりに努める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	【現状】 学習面に課題を抱えている生徒が在籍している。 【課題】 学習意欲が育っていない生徒が存在し、基礎学力の差が大きい。	基礎学力の向上を図る授業改善	生徒アンケートや実力テストを通じて、その結果を分析・検討することで、生徒の状況を正確に把握し、基礎学力を定着させるための授業改善を図る。	アンケートによる生徒の授業に対する満足度が上がったか。		
		学習意欲を高める	①成績不振者や出席状況が良くない生徒へ家庭と連携を密に取り、個別に方策を作成する。年次での計画的な小テストの実施を図る。 ②ICTやALなどを対象としたより実践的な授業研修会を実施する。	成績不振者が減少したか。		
2	【現状】 基本的生活習慣が乱れている生徒や社会のルールを遵守できない生徒がいる。 【課題】 学校及び担任と家庭の密な連携による指導の充実。	基本的生活習慣の具体的な把握及び確立を図る取組	①学校生活のあらゆる場面で積極的に「声かけ」・「挨拶」を継続すると共に、生徒の生活状況について調査・把握を行う。 ②遅刻者の傾向を分析した上で、欠席・遅刻を未然防止できる取り組み実施する。	①生徒アンケートにより生徒の挨拶に対する意識が向上し、挨拶が増したか。 生徒の平均的な生活状況を把握できたか。 ②欠席・遅刻での指導生徒が減少したか。		
		5S活動(整理・整頓・清潔・清掃・躰)を意識した規範意識の醸成	①5S活動を心がけることで、より充実した学校環境をつくる。 ②定期的な巡回指導・校門指導の実施及び家庭との連携により、問題行動を防止する。	①5S活動を理解し、自ら取り組む意識が醸成されたか。 ②生徒指導案件の数は減少したか。		
3	【現状】 自分の適性がわからず、進路の目標を見出せずにいる生徒が多い。 【課題】 生徒の発達段階と適性に合った進路目標の設定と実現。	発達段階と適性に合った進路目標の設定	①定期的な進路アンケートの実施と、県事業を活用した進路指導を実施する。 ②全年次において進路ガイダンスを実施する。	①進路アンケートにより年次ごとに、自分の適性、能力を把握できたか。 ②就職での業種区分及び進学での専攻分野を理解できたか。		
		進路決定率100%の継続	①社会人基礎力(特に発信力・傾聴力・柔軟性)を身につけさせる機会(授業内等)の充実を図る。 ②進路実現に向けて就職者・進学者を対象とした計画的な補習等の指導を実施する。	①課題研究・授業・LHRを含め、社会人基礎力を育成する機会を複数回設けられたか。 ②進路決定率100%が実現できたか。		
4	【現状】 地域との連携が育ちつつあるが改善の余地がある。 【課題】 有効な学校情報の内容と発信方法の検討を進め地域における学校理解を更に深める。	学校情報の発信	①HPの更新を週1回行い、さらに新しい資料を作成し、学校情報の発信を行う。 ②地域の行事等に参加する。	①地域、小・中学校に最新の学校情報を発信できたか。(H29年度61回) ②地域の行事等に参加できたか。		
		地域の小中学校との連携	中学校訪問や中学校教員向け説明会により情報交換を行うと同時に、地域住民・小学生を主な対象に親子木工教室等を実施する。	地域の小中学校との情報交換に努め、地域を取り込んだ行事・親子木工教室等が実施できたか。		

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	令和元年	月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		